

甲府西高 2年次だより



2020年到来！いよいよ勝負の年の始まりです！

いよいよみんなにとって勝負の年となる2020年が始まりました。新年最初の年次だよりは、日頃の学習や部活動の成果を見せるべく、大舞台にチャレンジしてきた生徒たちの紹介から始めたいと思います。

これからの練習に向けて

2年2組 天野安依美

「関東大会で1勝する」これが女子卓球部の目標である。12月26日から3日間に渡り開催された関東大会に向けて、それまで県外生との練習試合を多く経験し、様々な戦い方を学んできた。また、同じくらいの実力の選手と当たったとき、競り勝つことができる実践的な練習に取り組んできた。

迎えた関東大会では、結果として、西高は団体として勝つことができなかった。負けた試合の中にも、もう一步踏ん張ることができればという場面が多くあったが、あと少しの壁を乗り越えることができなかった。そういった場面で勝つためには、まず精神面の強化が重要である。「勝ちたい！」「今できる精一杯の力をここで出しきる！」という強い気持ちで臨めれば自分が持っている力以上のものを出せると思う。また、何か自分の強みがあることが思い切ったプレーにつながると思う。

そのためにも日常の練習で各自が自分の課題を意識し、一本一本試合の流れを組み立てる練習が必要である。また、試合中に声を出して互いに応援をしたり、アドバイスをし合ったりすることがチーム力の向上につながる。今回の関東大会では、自分たちに足りないものや、技術面での気づきはもちろん、一緒にプレーする仲間がいることのありがたさを感じることができた。これからは残り少ない公式戦に向けて、仲間とのつながり更に深め、目標を高く掲げ、さらなる高みを目指して、練習に励んでいきたいと思う。



英語ディベート大会を通して学んだこと

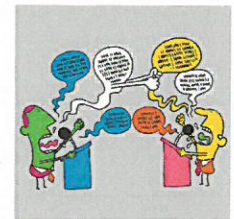
2年3組 加藤ゆう

私は、12月25、26日に群馬県で行われた全国高校生英語ディベート大会に出場しました。それまでの過程を含め、感じたこと、学んだことなどを書かせていただきます。

まずは、英語で相手に伝えたいことを正しく伝えることの難しさを実感しました。高校に入りたくさんの単語やイディオムを覚えましたが、いざ使ってみようとなると、ネイティブに首を傾げられることが多々ありました。表面上の意味しか覚えていなかったため、それが持つニュアンスや使い方がわかっていなかったのだなあと痛感しました。

次に、考える力がついたように感じます。私は主にアタックとして出場したのですが、相手の立論を壊していくためにいかに強い反論をするかということを考える中で、様々な考え方や情報を駆使して相対的かつ総合的に考える力がつきました。

最後に、チームの仲間をはじめとする友人たち、支えてくださった先生、家族の存在は本当にありがたいものだと思います。自分の考え方に新たな視点を与えてくれたり、失敗しても元気づけてくれたりしたからこそ、何とかやりきることができたのだと思います。ディベートに取り組む中で大変なことたくさんありましたが、それ以上にとっても充実しており、終わってから振り返ると非常に貴重な経験だったように思います。大会では、全国の高校生と身近な話題で盛りあがることができ、とても楽しかったです。今後に生かしていきたいです。



2人とも関東や全国の舞台に出たことで、自分自身の成長を感じるとともに、まだまだ足りない部分があることも実感したようです。そしてさらに成長をするためには、より一層の努力が必要だと痛感させられたようです。1年後にはみんなも受験という全国の舞台に立つこととなります。そこで自分の力を遺憾なく発揮し、最高の結果を得るためにも、今の自分に足りないものを把握し、どうしたらそれが身に付けられるかを考えて行動に移していきましょう。

保護者のみなさまへ

先週より行われました三者懇談、御多忙の中お越しいただきありがとうございました。この三者懇談を通じて、生徒たちもいよいよ3年次生になるんだという心構えができたのではないのでしょうか。これからの1年は、進路を決定していくうえで非常に大切な時期となります。時には、模擬試験などでなかなか結果が出ないことに焦りを感じることもあるかと思いますが、大事なことはお子様を信じて温かく見守ることです。結果が出ずに一番苦しんでいるのは子供たち自身です。何か一言いいくなる気持ちをぐっと抑えて、どうかお子様を側面からサポートしていただけたいと思います。学習面でのアドバイスや叱咤激励は我々教職員一同が責任をもって行います。今後ともご家庭との連携を密にしながら、お子様の進路実現のために全力を尽くしていきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【2月の予定】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	土	土曜講座	16	日	美術工芸専門部実技講習会会場
2	日	駿台ハイレベル模試	17	月	B きずなの日、第4回定期試験時間割発表
3	月	B	18	火	A
4	火	B	19	水	B
5	水	A	20	木	B
6	木	B	21	金	B
7	金	B 短縮50分授業、時差登校(9:00以降) 進研共通テスト対策模試	22	土	
8	土	進研共通テスト対策模試	23	日	天皇誕生日
9	日		24	月	振替休日
10	月	A きずなの日、第2回米国短期留学保護者説明会	25	火	第4回定期試験
11	火	建国記念の日	26	水	第4回定期試験
12	水	A	27	木	第4回定期試験、大掃除
13	木	A	28	金	表彰式、卒業式予行、同窓会入会式
14	金	A 体育委員・HR長合同会議	29	土	
15	土	土曜講座 美術工芸専門部実技講習会会場	1	日	第72回卒業式

【先生方からの寄稿】 今回は5組の担任・副担任の先生方です。

「私を頑張らせる毎朝の所業」

5組担任 横内 裕三

ある生徒が提出してくれる新聞のスクラップに載っている「きょうの言葉」をいくつか紹介します。

○虹だって15分も続いたら人は見向きもしない

「あ、虹が出る」
金曜日の午後4時、都会のオフィスで誰かがつぶやく。
「ほんとだ。きれいだなあ」
消えてしまうまでの5分ほど、オフィスの空気が和らいで、人々はまた、仕事に戻っていく。
虹ははかないことを知っているから、人々は短い時間を大切にしようと、手を休めてしばし見入るのだ。
沈む夕陽。青空に伸びた一筋の飛行機雲。別れの時が来ることが分かっている恋。限りある命。
今しかないものを大切にすることが、生きるということなのかもしれない。



○神は行動せざる者をけっして助けず

目標や夢に向かって動き出す。
「こんなこと、やりたいんです」と目を輝かせて人に語れば応援してくれる人が現れる。気付かないところで見て
いる人がいるかもしれない。
努力を続けてきたことが形になってくる。でも、まだ足りない。そこで、もう一押しの手助けをしてくれる人が出
てくる。
あなたが、見えるところで行動している限り、神ではなく、たぶんあなたの姿を見ていた人たちが助けてくれる。

○外見に気が回ってくると、幸運が回ってくる

心に余裕がなくて、外見など気が回らないような時、知らないうちに「近寄るな」と、人を遠ざける雰囲気を出し
出しているかもしれない。
そんなときは、自分の姿を鏡に映そう。鏡の中の人に近づきたいだろうか。自分が人からどう見られているかを気
にしない人は、知らず知らずのうちに人とのコミュニケーションを拒絶してしまう。そんな余裕のない状態から、
自分を見つめなおして、見せ方を気にすると、物事はいい方向にうごきだすかもしれない。

「自分に自信をもつ」

5組 副担任 宮川 卓大

どのようなことでも結果を出すためには、それまでの過程が大切です。では結果を残している人物はどのような考
え方で物事に取り組んでいるのでしょうか。正解は1つではないと思いますが1つの例として私が尊敬するテニス選
手の考え方を紹介します。その選手は、現在世界ランキング1位のR・ナダル選手です。ナダル選手は、昨年末に行わ
れたある試合でファイナルセットの1-5でマッチポイントを相手に握られてから大逆転で勝利しました。この試合後
のナダル選手のコメントが彼の考え方を表したすばらしいものでした。

試合後のインタビューでナダル選手は、お手本は大逆転した今日の結果ではなく、勝つために試合中や普段の練習
で努力してきたことであるということを述べていました。これは常にナダル選手が述べていることです。自分の積み
重ねた努力に絶対的な自信を持っているからこそ、目先の結果にとらわれずにやるべきことを行い続けられるのだと
思います。またそのような姿勢でテニスに取り組み続けているからこそ結果として世界 No.1 になっているのだと思
います。

高校生みなさんも考えてほしいです。〇〇大学に入学することが、大切なことで社会に出て役に立つことなので
しょうか？もちろん結果をだす(例えば大学に合格する、試合に勝つ、試験でよい点を取る)ということは大切です。
しかし、最も大切なことは〇〇大学に入るために高校生活でしてきた努力であり、〇〇大学で何を積み重ねていくか
だと思えます。高校生活の中で、これは頑張ってきたと自信を持って言える取り組みをして下さい。
その努力で得た自信が、合格という結果に結びつき将来自分の助けになります。

修学旅行も終わり、受験モードに切り替えなければいけない時期になってきています。努力を続ける
ことは精神的に非常にタフです。一人ですべて抱え込んでしまうととても苦しいと思います。だから
こそ、私たち職員および生徒、保護者でONE TEAMになって乗り越えましょう。

